

昭和56年度 保健委員が任命されました

昭和五十六年度の保健委員の方が次のとおり任命されました。総合検診をはじめとした各種検診、予防接種の会場、料理実習の会場、はては、カ、ハエの予防にと日常生活の保健衛生に村が事業を進めて行く大切なパイプ役をつとめて下さいます。よろしくお願ひします。(敬称略)

● 予防衛生委員
小林 正子 三星 数子
五十嵐藤重 佐藤ヒツエ
小武内ヤイ子 児部 クニ
堀 マサ子 野玉あや子
川井 キヲ 大関 タツ

● 食生活改善推進委員
五十嵐藤重 小篠 ノリ
堀 マサ子 木間 正子
中村 久子 野藤 勝子
泉田 紀 トミ

● 小児保健委員
高橋 容子 長谷川智子
神保キクイ 後藤 チカ
大橋 章子 白倉 美枝

● 母子保健推進委員
※西置場地区は未決定です。
斎藤美和子 小林 久子
近藤美和子 小川 テル子
木村 礼子 小川 テル子
池田 明美 石川 ヒツ子
山田 フミ子 児玉ミヨ子

● 公衆衛生委員
小篠 忠八 五十嵐勇夫
小篠 辰次 小林 忠衛
近藤 隆平 田中兵一郎
藤村 邦夫 野沢 勝正
高柳 英弘 塩浦 長生
瀬下 富雄 児玉 慶策

今月の献立

★豆腐のステーキ

材料(4人分)
・木綿豆腐 2丁
・とり肉 120g
・ほうれん草 120g
・しめじ 80g
・サラダ油 大ヒ 3
・しょう油 大ヒ 2
・酒 大ヒ 2

★いわしのほうれん草巻き

材料(4人分)
・イワシ
・ほうれん草
・チーズ(7mm角4cmの長さ)
・塩、こしょう
・フライ衣
・レモン
・マーガリン
・タルタルソース(適量)

作り方
1) イワシは中骨をとって塩こしょうする。
2) ほうれん草はゆでてマーガリンで炒める。
3) イワシの上に、ほうれん草を適量のせチーズを芯にして巻きようじで止める。
4) フライ衣をつけて揚げる。
5) レモン、タルタルソースを添える。

タルタルソースの作り方

材料
マヨネーズ 1カップ
ゆで玉子 1ヶ分(みじん)
ビクルス 大ヒ2()
A 玉ねぎ " 2()
パセリ " 1()
Aの材料をマヨネーズで合える。
※ゆで野菜や魚のフライ等によく合います。

税の知識

税に不服のあるときは



税務署長から、申告額の更正や決定、財産の差押えを受けた場合などで、その処分を受けた理由に納得がいけない時は、その処分の通知を受けた日の翌日から二ヶ月以内に、税務署長に対し「異議申し立て」をすることができ、税務署長は、異議申立てに理由があるかどうかを十分に調べて、異議に対し決定をします。その決定にお不服がある時には、この決定の通知を受けた日の翌日から一ヶ月以内に、国税不服審判所長に対し「審査請求」をして、その処分の取消しなどを求めることができます。

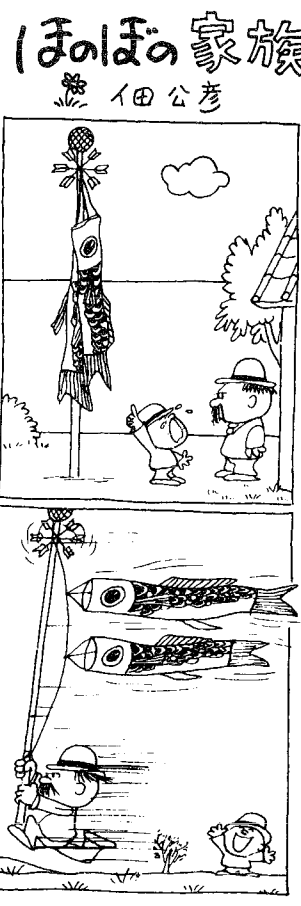
また、青色申告をしている人が更正を受け、その処分に対し不服がある時には、異議申立てをしないで通知を受けた日の翌日から二ヶ月以内に、直接、国税不服審判所へお尋ねください。

● 国税不服審判所
所長に対し「審査請求」をするのができます。
なお、異議申立てや審査請求は必ず書面で行うことになっていますが、裁判のように難しい手続はおりませんし、費用もかかりません。

● 国税不服審判
国税不服審判所は、国税局、税務署とは別な独立した機関で、第三者的立場で納税者と税務署長等の双方の意見を聞き、納税者の権利や利益を守るために設けられています。

● 新潟支所
新潟市宮所通二番町六二九一五
電話〇二五一二八〇九一九
なお、「異議申立て」「審査請求」の用紙は税務署にも用意してありますので、くわしくは、税務署・税務相談室、国税不服審判所へお尋ねください。

● 寄付ありがとうございました
村内在住のTさんは行政機関の委員として勤めておいてですが、このたび委員報酬五千四百円を村内の社会福祉協議会に寄附されました。



五月保健衛生事業日程

日	曜	事業名	会場
31	日	高令者学級	月寿荘
24	日	遠乗りサイクリング	未定
17	日	幼児教室	就業改善センター
15	金	教養講座	就業改善センター
10	日	婦人学級	就業改善センター
3	日	成人式	月寿荘
29	金	一才六ヶ月児検診	55/54/11/54/12生)の者 於月寿荘
27	水	"	中学生で該当学年で希望者
20	水	"	保育園
18	月	"	小学生該当学年で希望者
13	水	" 日本脳炎	保育園児で希望者
12	火	予防接種 麻疹(はしか)	生後18ヶ月/36ヶ月児 於月寿荘
8	金	育児学級	該当者は母子健康手帳持参下さい。
7	木	献血	※一年に一軒一人は献血を!! 感謝献血に協力下さい。
未定		母親学級	届出の妊婦さん

あきつ俳壇

○製材の木屑散らかる斑雪
○追儺会の鬼の逃げ込む鐘つき堂
○寒卵透けて影置く流し台
○けぶる雨芽のほくれたる花水下
○おぼる夜やかたき鼻緒の宿の下駄
○沈丁の匂ふ夕日の橋渡る
○寒雷や折針ひらう箱の底
○どの顔もうつむく通夜のあおさ汁
○紅梅や産湯のなかの小さな掌
○寒雀止り電線ゆるくゆれ
○針山に絹糸もつれ日脚伸ぶ
○温泉の番付はられ雪の宿
○白梅の日向に佇てる老教師
○春めきし日射しが移る岬岩
○剣道着結べぬ子等も寒稽古
○約束を乗り添えし春の旅
○雪消えて空かん一つ残りをり
○病む父の髭剃る寒き肩を抱き
○教室の四角の灯し春浅し
○病室の金属器具に春灯し
○どの桶も水漏れてをり種選み
○咳低く重ね読経の続きけり
○紙箱のひよこ売らるる雪の市

(あきつ「四月号」より転載)